



保健だより

令和8年2月2日

村山中藤保育園「白樺」看護師 池田 佐藤

1月は寒い日もありましたが、天気の良い日が続き暖かい日もあり、お子さまたちは園庭や室内でのネット遊びなどたくさん身体を動かしていました。

園内の感染症の発生状況としてはアデノウイルスやヒトメタニューモウイルス、インフルエンザ B 型などに罹患するお子さまが数名いました。また、原因がはっきりしない発熱や、咳・鼻汁が長引いてしまったり、夜間に発熱し、朝は解熱するという日が数日続いたというお子さまもいました。

子どもは体温調節機能が未熟なため夕方から夜にかけて体温が上がりやすいのですが、それは“身体がウイルスや細菌と戦っているサイン”という場合もありますので、注意して様子を見ましょう。また、一度熱が下がっても、数日後に再び熱が上がってしまう時には、再受診の検討が必要です。症状の出始めにはしっかり休息をとり、発熱が伴う場合は必ず病院受診をしていただくよう、よろしくごお願い致します。

【 2月の保健行事 】

4日(水) 0～2歳児クラス 身体測定 爪チェック

5日(木) 3～5歳児クラス 身体測定 爪チェック

0歳児健診 4日(水) 25日(水)

【 アデノウイルスについて 】

アデノウイルスとは、目・喉・肺・腸など全身に感染し、様々な症状を引き起こすウイルスです。発熱、鼻汁、咳、のどの痛みや気管支炎、肺炎といった呼吸器症状が出たり、目に感染すると目が充血し目やにが出ます。お腹に感染すると、嘔吐、下痢、腹痛などの胃腸炎症状が出ます。

アデノウイルスはとても感染力が強く、型も多いため免疫がつきにくく、複数回罹患することが多い感染症です。アデノウイルスに感染した場合、下記の感染症については医師が記入する「登園許可証明書」が必要になります。



【 咽頭結膜熱（プール熱） 】

潜伏期間：2～14日

症状：高熱、扁桃腺炎、結膜炎

登園の目安：発熱、充血等の主な症状が消失した後2日を経過していること

【 流行性角結膜炎（はやり目） 】

潜伏期間：2～14日

症状：目の充血、目やに（片方の目で発症した後もう一方の目に感染することがあります。）

登園の目安：結膜炎の症状が消失していること

【 けがの処置について 】

すり傷などのけがの場合は、丁寧によく洗い、砂などの異物を取り除くことで、けがの治りが早くなります。保育園では、お子さまと一緒に石鹸で優しく洗ったり、かける水の水压で砂粒が傷に残らないようにしています。お子さまによっては洗うことを躊躇する姿もありますが、洗うことの大切さを伝えと分かってくれ、ちょっと緊張しながらも一緒に洗い、傷がきれいになると安心する姿があります。傷をきれいにしたあとは、絆創膏を貼付しています。

薬局には傷を数日間覆うことで治りを促すキズパワーパッドなどの貼付薬が多く販売されていますが、使用には注意が必要です。これらの商品は切り傷などの異物やばい菌が入っていない傷には有効ですが、砂などでけがをした場合には少しでも細菌や異物が入った状態で覆ってしまうと、菌の繁殖を促してしまうため、数日覆って開けてみたらジクジク膿んでしまっていた…ということも少なくありません。使用する場合には使用方法をよく確認するとよいでしょう。

【 軟膏の預かりについて 】



皮膚症状がある（荒れていたり切れていたりする）時には処方薬をお預かりし、園内で使用していきます。症状が酷くない場合には、ご家庭で朝晩の保湿をしていただくようお願い致します。掻きむしったりしてしまう場合には、早めに病院にかかり、相談すると良いと思います。保育園では保湿クリームなどの用意がありますので、軽いかさつきなどについては、それを使用することもあります。

【 花粉症の時期に入ります！！ 】

例年2月中旬ごろから花粉の飛散が始まります。今年は1月中も暖かい日があり、都内では、わずかですが花粉の飛散を確認したというニュースもありました。花粉症はくしゃみ、鼻汁、鼻づまり、目のかゆみ、充血が主な症状です。人によっては倦怠感、微熱などの風邪に似た症状が出ることもあります。子どもでは、早い場合1～2歳ごろから発症することがあり、花粉症の疑いがある場合には早めに専門医に相談するとよいでしょう。園では、症状の強いお子さまについては、症状を抑える点眼薬など、処方されたものに限りお預かりすることができます。園での投薬が必要な方はご相談ください。

